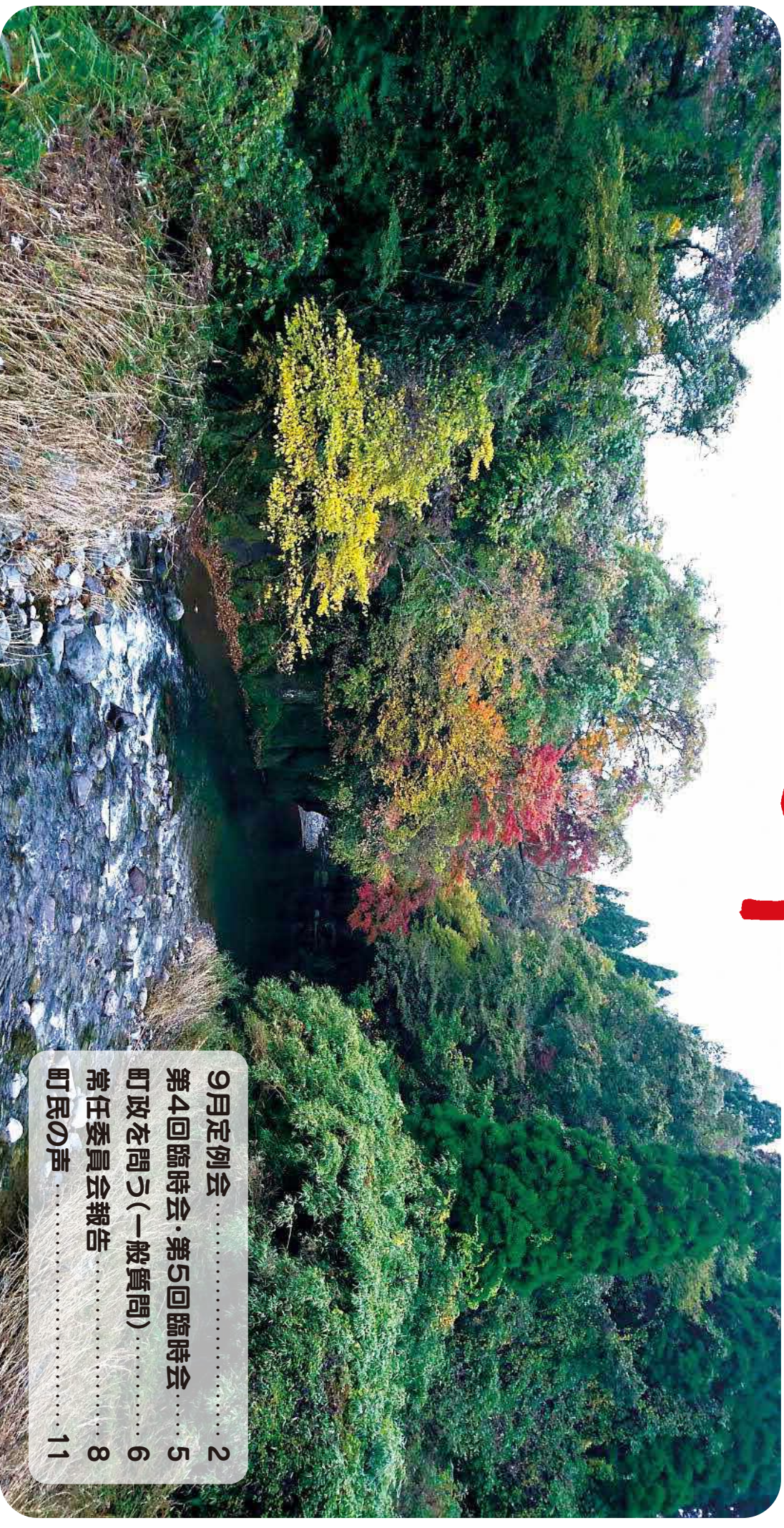


高森町議会だより 絆

PARLIAMENTARY INFORMATION

令和4年11月発行
No.87
9月定例会



9月定例会……………	2
第4回臨時会・第5回臨時会……………	5
町政を問う(一般質問)……………	6
常任委員会報告……………	8
町民の声……………	11

小津留橋より望む大谷川上流(大字野尻)

令和4年 第3回9月定例会

人事案件



同意第7号

**高森町教育委員会委員に
廣木 亮子氏が再任されました。**

(任期：令和4年10月1日～令和8年9月30日)

議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果
同意第7号	高森町教育委員会委員の任命について	同 意
認定第1号	令和3年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について	認 定
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
議案第54号	財産の取得について（給水車）	原案可決
議案第55号	財産の取得について（発電機）	原案可決
議案第56号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第57号	高森町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	令和4年度高森町一般会計補正予算について	原案可決
議案第59号	令和4年度高森町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第60号	令和4年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第61号	令和4年度高森町介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第62号	令和4年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第63号	令和4年度高森町農業用水供給事業特別会計補正予算について	原案可決
発議第1号	議長不信任決議案について	原案否決
発議第2号	議員辞職勧告決議案について	原案否決

令和3年度高森町 各会計歳入歳出 決算認定

(単位：千円)

会 計	予算現額	決 算 額		差引残額	執 行 率	
		収入済額	支出済額		収 入	支 出
普 通※	9,834,644	9,604,820	9,380,353	224,467	97.7%	95.4%
国 保	993,804	995,013	982,485	12,528	100.1%	98.9%
後期高齢者	112,564	112,220	110,027	2,193	99.7%	97.7%
介 護	1,079,140	1,087,525	1,010,446	77,079	100.8%	93.6%
簡 水	152,853	153,786	136,964	16,822	100.6%	89.6%
合 計	12,173,005	11,953,364	11,620,275	333,089	98.2%	95.5%

※普通会計とは：一般会計・農業用水供給事業特別会計・鉄道経営対策事業基金特別会計を含んでいます。



監査委員の決算審査意見

高森町は道路・河川維持、道路改良・災害復旧事業をはじめ、南阿蘇鉄道高森駅及び周辺再開発事業、エンタメ業界と連携した町づくり事業など多岐多様に渡る多くの事業を実施している。

このような過疎地域とは思えない充実した事業は評価に値し、右肩上がりに増額している令和3年度のふるさと納税は**約34億円**と前代未聞の寄付額となり、その活用は町民の福祉の向上に着実に繋がっている。

また、経常収支比率※は令和2年度の全国の市町村の平均が**94.4%**であるのに対し、本町の令和3年度の数値は**77.5%**と言う全国的にも優秀な数値であり、財政調整基金など各種基金の残高は**約47億円**にものぼっている。

これはふるさと納税の影響だけではなく、国や県の補助金を最大限活用している町の努力が大きいと言える。

ウィズコロナ・アフターコロナ対策が求められる今日、住民の生命と財産を守るため、財政運営の改善、本町の発展と福祉の向上に寄与されるよう、引き続き慎重な対応と特段の努力を望む。

※経常収支比率

人件費などの経常的な支出が経常的な収入に対してどのくらいの割合なのかを示す数値。低いほど町は財政に余力があるとされ評価される。

令和4年度 一般会計補正予算(第5号)

1億6,009万7千円を追加

予算総額 81億8,125万1千円

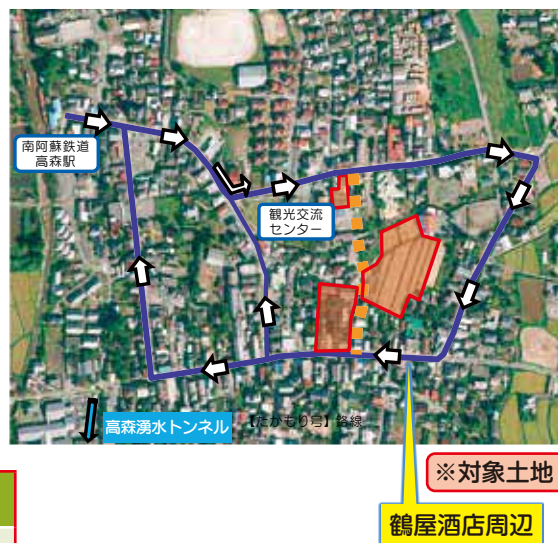
ふるさと納税活用事業

高森町中心市街地空洞化対策負担金事業

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・観光対策」に合致する事業であり、寄附の申出があった中心市街地の土地を取得するにあたり、寄附者が行う既存建屋の解体や整地に係る費用を町が負担する。

⇒空洞化が進行する本町中心市街地における対策として土地を有効活用することで、南阿蘇鉄道沿線地域公共交通計画に基づく今後の全線復旧・高森駅周辺再開発に併せた、「地域全体の活性化」に期待できる。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
5,500万円	5,500万円	0円

ふるさと応援砂利舗装町道環境整備事業

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・観光対策」等に合致する事業であり、管内にある町道で未改修等により通行に支障を来している区間について、舗装や支障木伐採等の道路環境整備を行うことにより、町民の皆様が安心して利用していただく。

【事業内容】

町道の未改修路線の環境整備（舗装、支障木伐採等）

【その他】

事業規模や延長の関係で、国庫補助事業や地方債を活用しての実施が困難な路線について、『**今年度に限り**』ふるさと応援寄付金を財源として実施するもの。



町道祭場・片山線

事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,000万円	1,000万円	0円

令和4年 第4回臨時会

令和4年度 一般会計補正予算(第3号)

3,648万9千円を追加

予算総額 74億1,733万2千円

議案番号	件名	議決結果
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度高森町一般会計補正予算)	承認
議案第49号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第50号	財産の取得について(漫画制作機材・高森高校マンガ学科)	原案可決
議案第51号	財産の取得について(町営学生寮空調機器)	原案可決

(令和4年7月26日開会)

令和4年 第5回臨時会

令和4年度 一般会計補正予算(第4号)

6億382万2千円を追加

予算総額 80億2,115万4千円

議案番号	件名	議決結果
議案第52号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第53号	令和4年度高森町一般会計補正予算について	原案可決

ふるさと納税活用事業

3年ぶりに開催される風鎮祭に関する経費を計上

【ふるさと応援花火助成金】

風鎮祭の打上花火について、現在の物価高騰の影響を受けて通常の2/3の本数しか打ち上げられない。

⇒3年ぶりの開催に華を添えるため、**通常の打上げ本数+α**での打上げができるように助成する。

事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
100万円	100万円	0円



【ふるさと応援風鎮太鼓助成金】

高森町の「無形民俗文化財」である風鎮太鼓は、近年、地域おこし協力隊(096k熊本歌劇団)の協力を得て、若手の育成にも取り組み、活動が活発化している。

購入以来30年以上が経過している太鼓はこれまで未修理のため、修繕費用を助成する。

事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
250万円	250万円	0円





公共施設トイレのあり方

男子トイレ汚物入れの設置・女子トイレ生理用品自動販売機

生活環境課長

時代のニーズに合わせた環境作り

質問

近年、男子トイレに汚物入れ（サニタリーボックス）を置く施設・自治体があるが、高森町は設置の予定はあるか。設置表示の方法は。

生活環境課長

現時点では公共施設への設置はない。前立腺がん膀胱がんの手術を受けた方、高齢者、トランスジェンダー等の対応における汚物入れ（サニタリーボックス）の設置に対する働きかけが進んでいる。今後、設置に向けた検討を進める。

総務課長

役場庁舎・総合センターの男子トイレに近日中に設置する。設置表示はトイレ等には特段せずに、ホームページ等で紹介する。

質問

最近の大型施設には女子トイレに生理用品の自動販売機が設置されている。新しい公

共施設の女子トイレに生理用品の自動販売機を設置すると、高森町の評価が上がるのではないか。

生活環境課長

現在町管理の公共施設には生理用品の自動販売機は設置しておりません。施設利用者の利便性向上という面では高森町のイメージアップにつながる。今後、関係課と協議を重ねて検討を進める。

質問

生理の貧困が問題となっている中、小中学校の女子トイレに生理用品を置くことが、

県の教育委員会では決定されたが本町での対応はどの様になっているか。

教育委員会事務局

高森町立学校においては、保健室に常備してあり必要な時は保健室で受け取る。それぞれの事情を踏まえ生徒児童に寄り添った丁寧な対応を継続して取り組んでいく。

特別委員会報告

地方再生特別委員会

4回目の新型コロナウイルスワクチン接種状況及び今後の接種について、住民福祉課より詳細な説明を受け、4回目は9月11日時点で2,426人、対象者の73.5%が接種を完了しており、高森総合センター特設会場での集団接種は、9月29日で終了することとなった。

オミクロン株対応ワクチンの接種については、対象者が12歳以上の1、2回目接種を完了した方となっており、接種間隔は現在のところ5カ月となっているとの報告を受けた。

高森町では、10月下旬もしくは11月上旬からの接種開始に向け、医療機関との調整や接種券の印刷を行っており、町民の方への継続した情報発信も行っていくとのことであった。希望するすべての方が、迅速かつ安全に接種できるような接種体制構築を要望した。

水資源対策特別委員会

当委員会では将来に向けて安心安全な水の供給、水道管の補修、水道料金の見直しなど担当課に報告を受けながら、活動・提案をしている。

実績としては、上津留・永野・山付集落の水供給期成会の立ち上げに尽力した。

今後は老朽水道管の敷設・整備費用について材料費・人件費の高騰が予測され、財源確保について考えていかなければならない。簡易水道事業においては、トンネル事故に起因する水補償問題の資料提示を受けながら解決を目指し、水道料金体系の見直しを委員会として提言していくことを申し合わせた。

将来へ向けた簡易水道事業の運営状況を確認しつつ、安心安全な水の確保、老朽水道管の整備費用、令和6年度からの企業会計制度導入に備え担当課と考えていく。

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

8月9日、常任委員会を開催し公用車の管理状況等について説明を受けた。

- ①現在各課に計46台、消防車両19台を配置している。
 - ②乗車前の点検や清掃は担当課がそれぞれ行い、アルコールチェックは運転者の上司が行っている。
 - ③免許証は毎年4月に確認し併せて自賠責・任意保険の加入の有無も確認している。
 - ④大型・特殊車両については運転技術の教習を行う。
 - ⑤安全運転管理者は総務課長が担い、講習会に参加後各職員に対し詳細を傳達する。
 - ⑥駐車場については、庁舎北側に防災倉庫・大型車両・一般車両160台分の駐車スペースを整備する。
- 行政活動において車両の使用は不可欠であり、安全運転・交通ルールの遵守と長期間使用できるよう車両の清掃や点

検を徹底してほしいと要望した。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和3年度高森町一般会計歳入歳出決算の認定について」「令和4年度高森町一般会計補正予算について」担当課から詳細な説明を受け審議した結果、すべての議案を可とした。

◎令和3年度高森町一般会計歳入歳出決算の認定について

【主な質疑事項】

質 普通交付税の今後の推移をどう見込むか。

答 災害復旧等の突発的事項を除けば人口減少等を鑑みると減少していくことが自然である。

質 借入金の繰り上げ償還をどう考えるか。

答 引き続き有利な起債を利用しつつ、基金の活用や一本化等も検討する。

◎令和4年度高森町一般会計補正予算について

【主な質疑事項】

質 高森峠の整備の詳細は。

答 東屋の整備、手すり等の点検を行う。



東屋



質 中心市街地空洞化対策負担金事業について説明を。

答 更地に整備した土地を寄付いただき、将来に向けた土地利用計画等を作成する。

質 奥阿蘇キャンプ場宿泊棟の電化製品の更新は。

答 高森町の中心的な観光地の一つでもあるため、補助金等を活用し一括購入を検討する。



コテージ

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

9月5日に常任委員会を開催し、完了事業確認及び視察調査を行い現地にて質疑応答を行った。調査先は①社倉・水迫線（落石崩壊対策工事・済）②祭場・片山線（対策実施予定）③片山・下山線（本年度事業実施区間）いずれも町道である。住民の安全を図ると共に通行時の危険除去、町道の将来性を考えた取り組みを重点項目として対応していくことを確認した。



町道社倉・水迫線
工事完了後 ← 落石崩落箇所

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和3年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について」「令和4年度高森町一般会計補正予算について」「令和4年度特別会計予算5件について」担当課より詳細な説明を受け審議した結果、すべての議案を可とした。

◎令和3年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について

【主な質疑事項】

決算の説明は主に20万円以上の不用額、予備費からの流用について各課より説明を受け妥当であると判断し可とした。無用な不用額は残さぬよう事業確定後速やかに補正をするように申し合わせた。

◎令和4年度高森町一般会計補正予算について

【主な質疑事項】

質 阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会の現状を伺う。

答 阿蘇郡市の自治体の中で阿蘇市と小国町が加入していない。

事務レベルでは話が出来つつあるので引き続き全自治体が加入するように協議を進めていく。

今後、阿蘇は一つと言われるように行動を起こしていくことを確認した。



阿蘇南郷檜

質 ふるさと応援砂利舗装町道環境整備事業の内容は。

答 この事業はアスファルトやコンクリートでなく鉄鋼スラグを用いて町道整備する事業である。平成25年に新技術として登録されており農道や林道に活用されている。耐用に

についてはこれから注視していく。

質 多岐に渡る集落支援員の活動と所管替えも含めた検討の要望。

答 今後はあらゆる角度からの集落支援をしていくことになり、集落支援員の業務は健康推進の分野だけにはとどまらない。委員会の意見を受け、庁舎内会議の際に所管替えも含めた検討をしていく。



集落支援員活動「尾下地区」

議員研修報告

7月20日～22日の日程で熱海市、国会議員会館、国土交通省への視察・陳情を兼ねた議員研修を行った。コロナ禍ではあったが、相手先の事情・陳情の適切な時期・熊本県内の感染状況等を鑑み、感染防止策を徹底しながら実行することを事前に全員で申し合わせ上京した。

熱海市では昨年7月に発生した土石流災害の現場を視察。市役所担当より当時の概況説明があり、原因究明は現在も調査中ではあるが、上流山間部の盛り土崩壊が被害を甚大化したとみられていること。被害後、近隣住民の防災意識が高まったことなど、詳細な説明を受けた。

国会議員会館では、県選出の議員事務所3カ所を訪れ、今後の高森町・南阿蘇鉄道等に対する支援の要望・陳情を行った。

国土交通省では鉄道局を訪れ、南阿蘇鉄道復興支援のお礼、また今後の支援について要望を行った。奥田審議官からは、「南阿蘇鉄道は事業者・行政・議会・住民が協働で復興に取り組んでいることを、模範事例として全国に紹介していきたい」と高い評価を頂いた。

今回の研修は4名の欠席により全員の参加が出来なかったが、要望や陳情を行う場合、適切なタイミング、要望する側の熱意をどう伝えるかが非常に重要だと再認識した。

(文責 津留 智幸)



町民の声



興梠 とめ子さん
(矢津田・赤羽根)

私は今年、古希を迎えた草部北部地域に住む女性の一人です。あと少し（6年）で金婚式というところです。先日、高森東学園で「高森ふるさと学」の学習の中で、地域の活動について話す機会がありました。その中で、これまでの活動についての振り返りや、現在の活動、地域の実態について考えることができました。私の住む地域だけでなくこの地域にもある少子高齢化、それに伴う後継者不足など、心配な課題が多くありますが、この課題から逃れることなくこの現状の中で生きていかなければなりません。

人生100年時代と言われて数年が経ち、年々平均寿命が上がっています。しかし、ただ長生きしているわけにはいきません。家族や周囲に面倒かけずに健康で過ごしたいものです。健康に生きるためには“笑い”が必要だと思います。他人と接して話をしたり、体を動かしたりして心身ともに明るく過ごすことが大事だと思います。ひとりでは笑えません。人とのつながりで“笑い”が出ます。機会があればいろんな事に積極的に参加する事が健康につながると思います。幸い町のいたるところで公民館が新築・改築されました。そこで、百歳体操やゲーム、おしゃべりの時間があるかと思いますが、これを有効に活用するのが良いのではないのでしょうか。そうすることで、健康で生き生きと長生きできるはずです。

明るい地域、明るい故郷には、誇りを持って帰ってくる子や孫がいると思います。誇れる地域・町づくりに貢献するのは、地域に残っている私達の宿命です。健康づくりも町づくりの一環です。もう歳だからと言って引きこもらず、もっと元気にもっと明るく生きていきましょう!!

高森町は美しい田舎で、新鮮な空気と美味しい水、夢のような美しい世界です。上色見熊野座神社は熊本出身の漫画家である緑川さんの作品“蛍火の杜へ”で有名になり独特の景色が近年ソーシャルメディアに後押しされ、新たな人気スポットになりました。曇雨、早朝、夕暮れの時期、霧、朝日、夕焼けなど大自然の要素に更にこの神秘的な雰囲気加わり、人が絵の中を泳いでいるようです。“高森田楽”はその名のとおり現地の伝統料理で、200年近くの歴史があり、70代のお年寄りでも“おもてなし”というサービスで中国人は日本人の健康に感心せざるを得ません。

私は中国北京から来ました。高森で18年間生活し、高森は私の第二の故郷と言えますし、高森を本当に愛しています。その中で不足しているところは地方文化交流が足りない事です。

新しい時代、新しい認識を持つためには、人と人とが理解し合う必要があり、お互いに包容してこそ偏見から離れることができます。

人間は一緒に交流し、各国の風土、人情、食文化、歴史などを理解し、お互いに勉強して助け合い多くの知識を獲得して、国境の区別がなく互いに愛を通わせることができると信じています。

「山川異域と風月は同じ天で、仏子を寄贈し共に縁を結ぶ」

外国人の代表として高森町の住民であり、高森の未来、健康、楽しい明日のために一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします！

じょう とうばい
常 冬梅さん
(高森・昭和)

令和4年度 熊本県町村議会研修会報告



令和4年10月4日（火）より熊本県立劇場にて、熊本県町村議長会主催の熊本県町村議会議員研修会が開催された。講師は認定NPO法人グリーンバレー理事の大南信也氏が「地域創生とまちづくり」を演題に講演された。

グリーンバレーは徳島県神山町で過疎化した地域が生き残るための解決策を見出そうと、アートと環境を中心にグローバルで創造的な地域活性化を展開し地域課題の解決に取り組んでいる。

高森町との類似点は、人口規模や面積の85%が山林である環境があげられていた。

戦略としてはアートとウェブサイトによる知名度のアップ、光ファイバー網の整備や空き家改修プロジェクトによる受け入れ態勢の整備、移住・定住の条件付けにより町のデザイン参画による将来への構想まで考えた人選、サテライトオフィスの設置を段階的に行うことで、神山

町に集まる人の思いを紡ぐ場を提供している。

その結果、外部企業の進出、商店街の活性化や多種にわたる人材が集積し、現在は「まちを将来世代につなぐプロジェクト」を展開中である。結果、2011年社会動態人口が増加に転じ、昨年は内閣府特命大臣が来町し可能性のある町と言及している。

現在は「神山まるごと高専」を2023年開校に向けて更なる地域活性化と共に人材集積、育成の地として発展させていくと述べていた。

地域に熱い想いをもち、手段と方法、明確な目的を持つリーダーの重要性、ここに至るまでの約30年間立ち止まることなく継続してきたことが成果に繋がっていると思う。

私たち議員ができることは住民やリーダーを支え、提案していくこと、それがより豊かな社会を構築することに繋がると、この研修で学んだ。

（文責 後藤 巖）

編集後記

晩秋の候となりそろそろ落ち着いた日常がいいと思いきや、自然も世の中も中々手強く、人間の力量がまだまだ試されそうです。

でも、時には秋の風情を楽しむ心のゆとりも持っていたいですね。

穏やかな日が早く訪れますように！

広報委員 後藤 清治

議会広報特別委員会

議長 佐伯 金也（発行責任者）

委員長 牛嶋津世志 委員 津留 智幸

副委員長 後藤 清治 委員 後藤 巖



森林資源保護・自然保護のため、本誌は再生紙を使用しています。